

iシェアーズ  
月次ETF\*資金流入レポートブラックロック・ジャパン株式会社  
iシェアーズ事業部

ETFは世界中で6,000銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.2兆ドル（約330兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生\*\*しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

\*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

\*\*ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

## 2016年6月のETF資金流入

2016年6月の世界のETFへの資金流入は、Brexit（英国EU離脱）による先行き不透明感があっても関わらず、245億ドル（約2.5兆円）の流入となりました。

株式ETFは過去2ヶ月の間失速傾向にありましたが、6月は136億ドルの資金流入となりました。最も資金を集めたのは高配当株ETFで38億ドル、また価格変動リスクを抑えた銘柄選定を行う最小分散ETFは28億ドルの流入となりました。

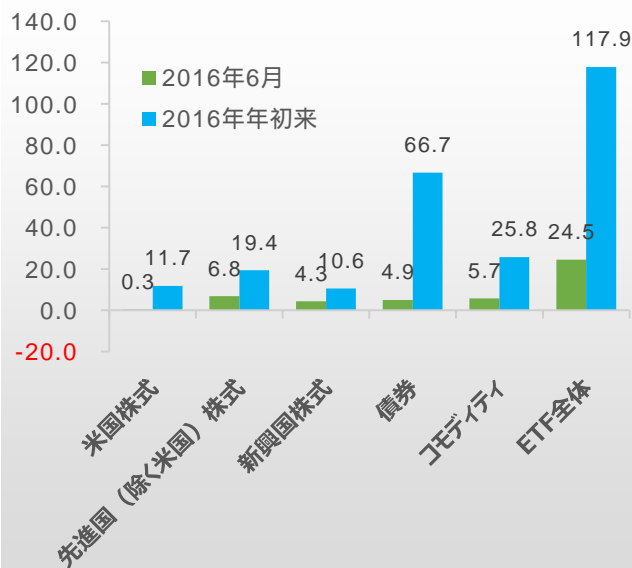
新興国株式ETFは前月の流出から流入に転じ、36億ドルの資金流入となりました。

欧州株式ETFは5ヶ月連続で資金流出となりましたが、英国国民の投票後、Brexitに伴う不透明感が後退し、流出額は縮小、18億ドルに留まりました。ドイツ株式ETFは年初来初めて資金流入に転じました。

債券ETFは資金流入が続き、6月は49億ドルの流入となりました。総合型債券ETFは34億円、新興国債券は23億、投資適格社債は29億ドルの資金流入となりました。

引き続き安全資産の金ETFには資金流入が続き、54億ドルの新規資金の流入が見られました。年初来では220億ドルという設定以来最大の資金流入となっています。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

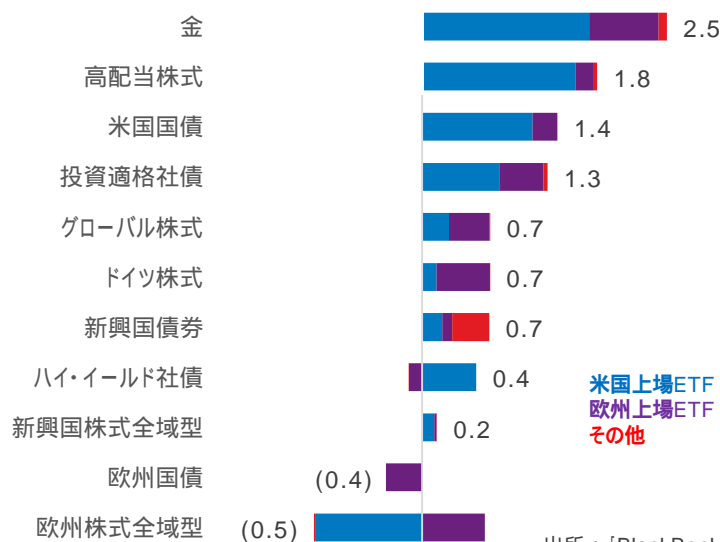


出所：「BlackRock Global ETP Landscape June 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

## ETFから見る世界の投資家動向

【6月24日-30日の米国大型株以外の資金フロー（単位：10億ドル）】



6月23日に英国のEU離脱をめぐる投票が行われ、その翌日以降、市場は乱高下しました。しかし、24日から30日までのETFの資金流出は12億ドルに留まりました。ETFの流動性が、投資家のリスク選考や先行きの見通し、そしてグローバルな政治経済情勢の変化に応じた投資行動を可能とした点が背景にあると考えられます。以下にポイントを纏めました。

- 1) 米国大型株ETFは77億ドルの流出となったが、流出は流動性の高いETFに集中し、それ以外の米国大型ETFは65億ドルの資金流入となった
- 2) 先行の不透明感の後退から、欧州籍ETFへの資金流入は回復し、欧州株式ETFは1月以降初めて流入に転じた
- 3) 他の資産より信用リスクが比較的低い金、米国国債、投資適格社債ETFは併せて52億ドルの資金流入を記録した
- 4) 投資家は低金利環境を受け、高配当株や新興国債券、ハイ・イールド社債ETFなど、引き続きリスクをとった利回りの高い銘柄への関心が高く、これらの銘柄は6月27-28日に資金流出を受けたにもかかわらず、6月最終週は資金流入超となった

## ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

## 手数料、費用等について

【売買時の手数料】当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認下さい。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

## ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） [www.blackrock.com/jp/ishares](http://www.blackrock.com/jp/ishares)  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号  
加入協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

iShares®  
by BLACKROCK®

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。